

# 小学校第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

## 単元名：「ヒロシマ人として」

指導者 熊野町立熊野第一小学校 玉井 義孝

- 1 日 時 令和4年7月15日（金）6校時  
 2 場 所 6年1組教室  
 3 学年・学級 第6学年1組（32名／男子20名・女子12名）



### 児童の実態

提示する表は、本学級で本単元導入前に行った総合的な学習の時間の学習に関する児童の意識調査アンケートの結果（令和4年6月29日実施）である。

質問内容	肯定的回答（人）		否定的回答（人）	
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
①「総合的な学習の時間」の学びは楽しい。（関心がある）	15	14	3	0
②授業における予想の時間では、今まで学んできたことを使って予想をすることが多い。	12	18	2	0
③授業における予想を確かめる時間では、情報を比べたり（比較）、仲間分けしたり（分類）、関係を見つけたり（関係付け）して、何が分かるのかを考えることができる。	10	20	2	0
④授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるような発表をしている。	8	20	4	0

アンケートの結果より、概ね学習に前向きに取り組んでいるが、児童の実態として特に④発表に課題があると考えられる。そのため本単元を学習していくうえで、まず児童自身に課題意識をもたせること、そして誰に発信していくのかをしっかりと検討することを丁寧に確認していきたい。

また、他教科とも関連させながら、デジタル機器の活用も発信、整理・分析の手段として取り扱っていくことで総合的な学習の時間に限らず、これらのスキル向上を図っていく必要がある。

### 単元の目標と評価規準・ルーブリック

#### 【単元の目標】

○ヒロシマと広島に関する情報の収集を進める中で、整理・分析結果からヒロシマと広島からの平和発信に対する価値判断を行い、ヒロシマ人としての当事者意識をもって自らの考えを発信できる。

#### 【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
わかる・できる力	自分の考えを表現する力	協働する力	振り返る力
・課題解決に向けて適切な方法で情報を集め、自らの考えや立場を明確にする中で、必要な情報を取捨選択し、話し合いや取材を通して発信する情報を精選し、自らの考えを構築している。	・ヒロシマと広島について、相手に応じた情報を発信するために、筋道を立てて思考を深め、獲得した情報を精選して表現につなげている。	・課題の解決に向けて情報を収集・分析し、考えをまとめ、発信する活動を、仲間との対話的な活動を通して進めている。	・学習を振り返り、平和に対する自分自身の想いの変容に気付き、自らの思考の深まりを実感している。

#### 【ルーブリック】

	Aの例	B	Bへの手立て
協働する力	・実社会・実生活につながる課題解決に向けて、自他の良さを生かしながら、主体的に探究活動に取り組んでいる。 ・異なる意見や他者の考えを受け入れ、多面的、多角的な視点で相手の立場を尊重している。	・実社会・実生活につながる課題解決に向けて、自他の良さを生かしながら、探究活動に取り組んでいる。 ・異なる意見や他者の考えを受け入れ、相手の立場を尊重している。	・異なる意見が出たときに、それについて認める場を設ける。
自分の考えを表現する力	・ヒロシマと広島について、他者の意見を尊重しながら、相手に応じた情報を発信するために、資料を基に筋道を立てて思考を深め、獲得した情報を精選して表現につなげている。	・ヒロシマと広島について、相手に応じた情報を発信するために、筋道を立てて思考を深め、獲得した情報を精選して表現につなげている。	・相手意識や自分の考えをはっきりさせるために、思考ツールを用いて情報や思考を整理・分析できるような場を設ける。

### 本時の学習（2／22時間）

#### ●本時の目標

「ヒロシマ人として」ヒロシマといえば思い浮かぶことを考え、多角点な視点、建設的な視野から自分たちにできるSDGsの課題を設定することができる。

（1）準備物…【指導者】黒板掲示用資料、モニター提示用スライド資料、（児童用）ワークシート

【児童】児童用タブレットPC、ワークシート

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 ◎支援を要する児童への手立て	準備物 ●評価規準（評価方法）
1 前時までの学びを振り返り、本時の問題について確認する。		
○前時までの学びを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒロシマといえば、ヒロシマの自慢に思うこと、誇りに思うことなど、人・もの・こと・場所に分類して調べてきたことをWordcloud上にキーワードで投稿させる。</li> <li>・広島に育った子供たちが、「ヒロシマ人として」広島のことを伝えられるよう確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童用タブレット PC</li> </ul>  <p>Wordcloud (イメージ)</p>
2 問題を設定する。		
【めあて】「ヒロシマ人として」私たちにできるSDGsの課題を設定することができる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板掲示用資料</li> </ul>
○めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科「私たちにできること」の学習を生かし、ヒロシマと持続可能な開発目標とを関連付けて発信していけるように、意識付けを行う。</li> </ul>	
3 協働的な学びの場を設定する。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○Wordcloud上に表示されたキーワードや調べてきたワークシートを基に、SDGsの課題に合うものをカテゴライズする。</li> <li>○自分の考えを明確にし、その考えを選択した理由を考えとしてまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの課題を選ばせる。</li> <li>・SDGsの課題と繋げられるようなヒロシマといえばのキーワードをGoogle Jamboardのフィッシュボーンチャートを使って分類・整理していく。</li> <li>・他のグループのGoogle Jamboardを見ながら、共通点や相違点に気付かせ、話し合いをさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・児童用タブレット PC</li> </ul>  <p>Jamboard (イメージ)</p>
4 自分の考えを明らかにする。		
○自分の考えを学びの場で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループのフィッシュボーンチャートから、共通点を見出し、「ヒロシマ人として」ふさわしい課題を考えさせる。</li> <li>・話し合いをもとに自分の考えをもたせ、その理由を考えさせる。</li> <li>・Google Classroomの質問機能を活用し、選んだSDGsの項目を選択させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・児童用タブレット PC</li> <li>・モニター提示用スライド資料</li> </ul>
5 全体で考えを共有する。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを全体で共有する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>めあてに迫るための手立て</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ヒロシマ人として」広島に住む私たちだからできること、私たちにこそできることは何かという視点で考えさせる。</li> <li>○なぜ「ヒロシマ」がカタカナ表記なのかを考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあての中で広島の表記が「ヒロシマ」であることに注目し、平和を世界に呼びかける場所としてこの都市を呼ぶには、カタカナ表記の「ヒロシマ」で表されることを知る。</li> </ul> </li> <li>○「ヒロシマ」を訪れた海外の著名人の感想を知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・著名人の原爆ドームや平和記念資料館を訪れた際の感想を紹介し、「ヒロシマ人として」学習する課題をもう一度考えさせる。</li> </ul> </li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだSDGsの課題、選んだ理由を発表させる。(その課題に当てはまるヒロシマといえばのキーワード)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・児童用タブレット PC</li> <li>・モニター提示用スライド資料</li> </ul> 
【課題設定例】「ヒロシマ人として」広島に投下された原爆について知り、平和について発信していくことができる。		
6 本時のまとめをする。		
○これから、ヒロシマについて知り、SDGsの課題の一つである平和を伝えていくためには、具体的にどのような情報を収集していくのかについてまとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒロシマ人として」の課題を確認する。</li> <li>・ヒロシマを伝えていくために自分たちが知っておきたいこと、知るべきことにまとめのスポットを当てさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul> <p>(今の自分にとって「ヒロシマ人として」学習するテーマについての部分を記述させる)</p>
7 本時の振り返りをする。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○立場の異なる児童の意見からの学びを中心に、次時へのつながりを踏まえた振り返りを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>児童の振り返り例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広島にはたくさんの方がいることが分かった。でも、原爆についてはあまり詳しくは知らないから調べていて、平和について自分の考えをもちたい。</li> <li>○今、世界では戦争が起こっているから、原子爆弾の悲惨さをしっかりと学び、平和の大切さを伝えていきたい。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校で共通する「高学年の振り返りの視点」を示しながら、本時で他者から学んだことを中心に振り返りを書かせる。</li> <li>・決まったテーマについての自分の考えやこの時間の自分の考えの変容について記述できるようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの総合的な学習の時間におけるレディネスやヒロシマについての調べ学習を基に、課題を自分事に引き寄せて設定することができる。</li> </ul> <p>ワークシート記述（協働する力）</p>

